

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社NTN上伊那製作所					
代表者名	氏名	小林 篤	役職名	取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県上伊那郡箕輪町大字中曽根522-2					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	25 はん用機械器具製造業				
主たる事業の概要	軸受け部品製造（ころ）					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	4,891	4,744	4,901	5,643	5,272
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	9,319	9,039	9,334	10,750	10,058
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	0
自動車の台数	台	4		4	4	4
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	0				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	ロビーに掲示（8：30～17：10）、連絡先及び担当部署 総務課 0265-79-7877
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

別途添付

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

別途添付

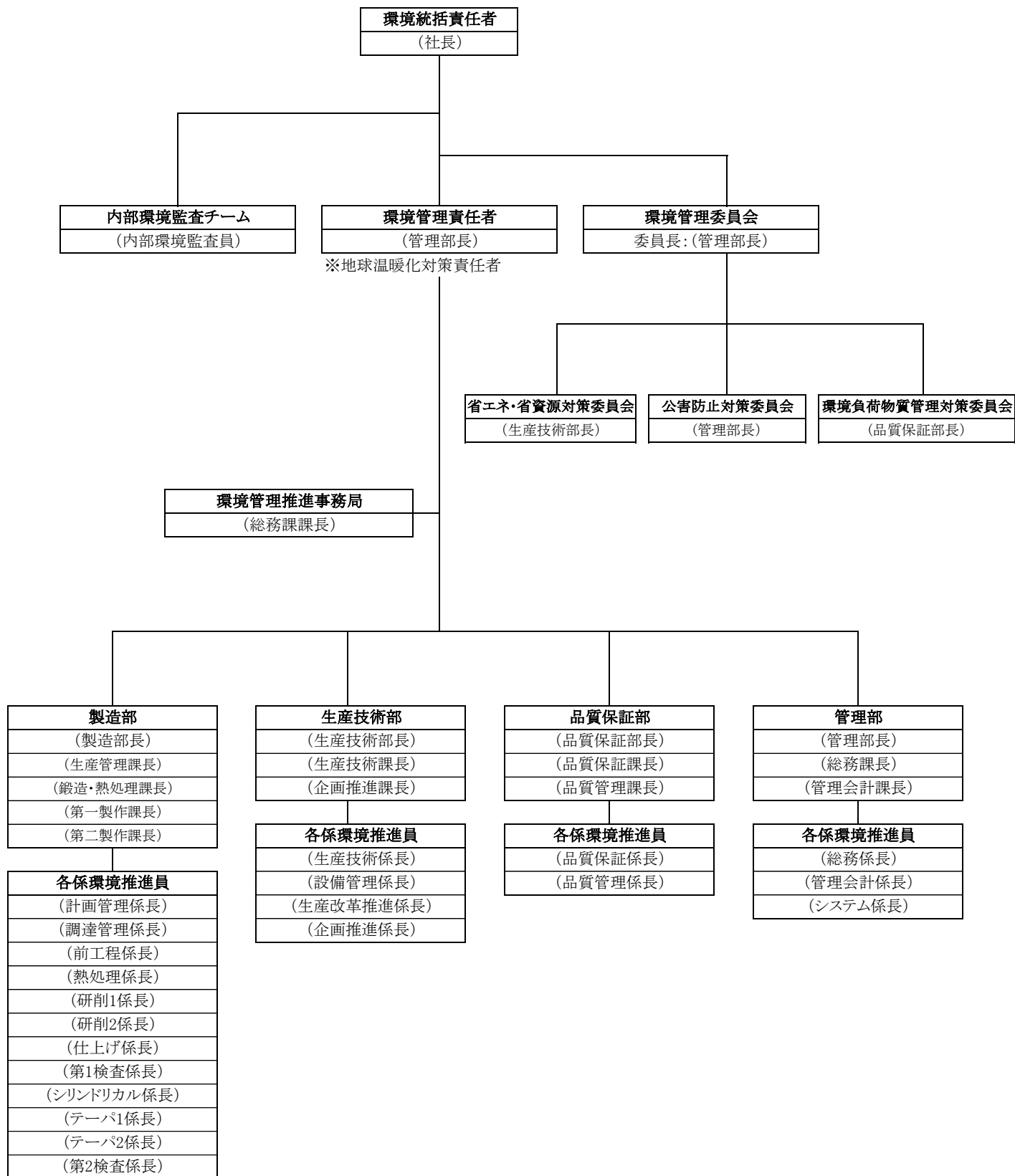
#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ①NTN全社環境管理委員会 (年4回 4半期毎)
- ②上伊那製作所 環境省エネ委員会 (1回/月)

## NTN 環境基本方針

当社グループは、地球環境との共生を最重要課題とし、事業活動において環境汚染の予防および自然資本の保全を図るとともに、当社技術が社会の持続的発展に貢献できるよう不断の努力を行います。

1. 自社技術による地球温暖化防止への貢献  
世界の省エネや創エネに寄与する新技術・新商品の開発および提供を通じて、地球温暖化防止に貢献します。
2. 法令などの遵守  
環境法令や条例を遵守し、地域や顧客など利害関係者からの要請にも積極的に対応します。
3. 事業活動における環境負荷低減  
NTN グループのあらゆる事業活動において、CO<sub>2</sub>や規制物質の排出などの有害な環境影響を最少化するとともに、サプライチェーンの上下流（調達先~顧客）における環境負荷の把握および低減に努めます。
4. 持続可能な資源の利用  
リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）を徹底し、原材料や水などの投入資源および廃棄物の削減に取り組みます。
5. 環境負荷物質の管理徹底  
グリーン調達を推進し、製品および製造工程で用いる環境負荷物質の管理を徹底するとともに、有害性が高い物質については、積極的に代替物質へ転換します。
6. 生物多様性保全への取り組み  
地域社会と連携して、積極的に森林保全などの環境保護活動を推進し、生物多様性の保全に取り組みます。
7. コミュニケーションの推進  
NTN グループで働く全員に本方針を周知し環境意識の向上を図るとともに、環境への取り組みを広く情報発信し、積極的に社会とのコミュニケーションを推進します。
8. 環境マネジメントシステムの継続的改善  
環境パフォーマンス向上のため、環境マネジメントシステムを運用し継続的に改善します。



様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	9,319	t-CO <sub>2</sub>	SC生産高	4,949.00	単位	百万円
2019年度	調整後排出量	9,319	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	1.88	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
目標年度	目標排出量	9,039	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	1.82	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	エネルギー使用の合理化に関する法律に基づく目標数値と同値とする。 SC（スタンダードコスト）：親会社で設定した標準原価を基準として固定した金額指標						
第一年度	排出量	9,334	t-CO <sub>2</sub>	SC生産高	4,482.00	単位	百万円
	削減率	-0.17	%	原単位	2.08	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
2020年度	調整後排出量	9,334	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-10.64	%	
	削減率	-0.17	%				
排出量等の増減理由	需要減に伴うSC生産高低下が削減率向上を抑制した。尚、2020年11月以降は、需要回復傾向にある。						
第二年度	排出量	10,750	t-CO <sub>2</sub>	SC生産高	6,016.94	単位	百万円
	削減率	-15.36	%	原単位	1.79	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
2021年度	調整後排出量	10,750	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	4.78	%	
	削減率	-15.36	%				
排出量等の増減理由	本年度、生産回復によりCO2排出量は増加しました。、生産高増加、省エネ施策推進（照明LED化、コンプレッサー更新等）により原単位は1.79t-CO2/百万円と基準原単位に対し4.78%改善しました。						
第三年度	排出量	10,058	t-CO <sub>2</sub>	SC生産高	5,367.19	単位	百万円
	削減率	-7.94	t-CO <sub>2</sub>	原単位	1.87	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
2022年度	調整後排出量	10,058	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	0.53	%	
	削減率	-7.94	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	社会情勢により基準年度の生産量自体が低調であった。その時の数値を基準としている為、受注が回復し始めた昨年以降、エネルギー使用量が増加しておりCO2排出量削減目標値に至りませんでした。原単位削減率目標につきましても昨年並みの生産量を維持できなかったこと及び計画した施策を全て実施できなかったことにより目標未達となりました。						

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	380751	高効率照明ランプへの更新	2021	6	2021~ 2022	19.6
2	エネ起	380752	避難誘導灯のLED化	2022	1.7		
3	エネ起	330299	高効率空調システムへの更新	2022	5.5		
4	エネ起	370799	稼働率の高い生産設備のプレミアム効率モーターへの更新	2022	1.4		
5	エネ起	330299	水冷式パッケージエアコンへの更新	2022	77.8	2021	38.6
6	エネ起	380752	外灯LED化	2021	3.63	2021	6.3
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光パネル	kw	50	0	50	50	50



様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	9,319	1	9,334	1	10,750	1	10,058
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	9,319	1	9,334	1	10,750	1	10,058

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
NF <sub>3</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	1
合計	1	1	1	1
自動車総数	4	4	4	4
次世代車導入割合	25	25	25	25

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	名称	ISO14001	平成23年
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

<p>1. 省エネの取組</p> <p>①計画案件；水冷式パッケージエアコンへの更新を中止し水冷式パッケージエアコン撤去とし2021年に完了済</p> <p>②計画追加；コンプレッサー更新（2022年1月）実施済。原油換算 40kℓ/年削減見込み</p> <p>③計画追加；高効率照明の更新範囲を更に拡大実施した。LED照明122台導入（FLR型 120台撤去、HID型4台撤去）</p> <p>2. 工業用水の使用量削減取組</p> <p>工業用水使用削減のため生産設備に水量計、タイマー化による水量管理・削減を2022年2月開始</p>
--